

2012

平成24年

1.25

坂井輪連合自治部
発行責任者 梶原宜教

六道

昭和48年初版

第71号

45自治会
8,856世帯

題字揮毫 篠田昭新潟市長



坂井輪中学校区コミュニティ協議会
連合自治部部長 梶原宜教

年頭の挨拶

新春を迎え、皆様にご挨拶申し上げます。昨年の総会で退任された柳澤前部長の後任として、坂井輪中学校区内自治会のまとめ役をお引き受けることになりました。若輩者であります。役員並びに各自治会長の皆様方のご支援を賜りながら、住みよい地域づくりに向けた活動をしておりますので、今年もよろしくお願いたします。

さて、昨年は、千年に1度と言われた3月の東日本大震災と、それ起因する福島原発汚染水という複合災害等によって、日本国中が大きく振り回され、不安定な混乱の年となりました。しかし、一方では改めて地域の心となるのは、やはり生活の根幹となる地域自治会の皆様を中心とした活動が大切であると思っております。生活環境問題や、防災・防犯活



新潟市西区長 鈴木 亨

西区のリーダーシップ

坂井輪地域の皆さん、新年あけましておめでとうございます。皆さま方には常日頃から区役所整備問題や区政懇談会など様々な機会に暖かなご支援と心のこもった激励をいただき深く感謝しております。昨年は未曾有の災害となった東日本大震災の対応に国を挙げ全力で取り組んだ1年で、西区でも、西総合スポーツ

センターを避難所として開設し、福島県からの避難者を支援してまいりましたが、皆さんからは義援金の他、子どもたちを励ますイベントの開催などご協力をいただきありがとうございます。ご支援をいただき、災害に對する「備え」の重要性を再確認させられた年となりました。さて、本市では昨年「超高齢者社会への対応」を最重要課題の一つとして掲げ、あらゆる分野でその対策を強化しています。坂

井輪中学校区においても既に65歳以上の方が4人に1人という現状ですが、2030年には、総人口が約1500人減少する一方で、高齢者人口が約2000人増加し、65歳以上の方が3人に1人となること、が現実視されています。幸い、皆さんの地域においては高齢者に対する平常時の支援策として、ゴミの搬出支援や、見守りネットワークの構築など新たな事業展開や、災害時の支援策として、災害が昼あるいは夜発生した場合を想定し、状況に応じた災害時要援護者対策の検討など先駆的な取組みを行っており、高く評価をしております。

このことは、ふれあい、支え合い、安心して暮らせる地域をつくるには「地域の力」が重要であることを皆さんが認識し、常日頃から、定期的な研修会の開催や積極的な地域活動を精力的にこなしている成果の現われと想っています。今後とも地域の絆を大切に、様々な地域課題の解決に取り組み、西区のリーダーとして大いに活躍されることを期待しております。

超高齢者社会への対応や防災対策をはじめ行政だけでは解決できない課題も区民の皆さんと力を合わせることにより道は拓けるものと思っております。そのためには区民の皆さんとの信頼関係を築くことが不可欠と考えており、今後とも、皆さんとの信頼関係を基礎とし、安心、安全、快適で元氣のある西区を目指してまいります。さらなるご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

連合自治部・連合自主防災会 総会資料

連合自主防災会会計				連合自治部会計(一般会計)			
科目	22年度決算	23年度予算	予算の内容	科目	22年度決算	23年度予算	予算の内容
収入の部				収入の部			
繰越金	86,901	130,135	22年度から繰越金	繰越金	196,043	179,090	22年度からの繰り越し
繰入金	0	0		会費金	1,801,383	1,816,300	205円*8860世帯
会費金	175,910	177,200	20円*8,860世帯	補助金	317,000	400,000	地域活動費補助金他
助成金	260,289	250,000	新潟市活動助成金	交付金	805,601	663,500	
雑収入	24	665	預金利息他	日赤	116,050	116,000	納入社費*5%
収入合計	523,154	558,000		社協幹事費	69,000	67,500	@1,500円*45自治会数
事業費	368,944	450,000		社協活動費	620,551	480,000	22年度納入会費*30%
資機材費	220,364	270,000	訓練用資機材等購入費	負担金	126,000	120,000	僱事来賓等負担金
広報費	27,300	30,000	訓練案内チラシ印刷代	雑収入	215	80,110	利子、コミ協経費繰入
研修費	0	30,000	リーダー研修会参加等	収入合計	3,246,242	3,259,000	
その他費用	121,280	120,000	機材借、協力謝礼、関連団体参加費	事業費	1,300,321	1,110,000	
運営費	24,075	100,000		研修費	656,846	660,000	研修3回、情報意見交換1回
会議費	0	20,000		広報費	126,375	130,000	大道1回発行
事務費	7,625	20,000	訓練関係事務用品、郵便代等	社協活動費	517,100	320,000	納入会費*20%
設備費	0	20,000	管理設備経費	運営費	1,686,659	2,056,000	
交通費	16,450	20,000	関連団体参加・一般交通費	会議費	250,011	250,000	総会、常任委員会経費
傷害保険費	0	10,000	訓練渉外保険等	渉外費	181,324	170,000	他団体との連絡調整、慶弔費等
雑費	0	10,000	上記各科目に属さない経費	事務費	244,481	250,000	機械リース、用紙事務消耗品他
予備費	0	8,000		専門員謝金	324,700	510,000	専門員雇用負担
支出合計	393,019	558,000		交通費	20,596	36,000	役員・事務員行事参加交通費
次年度繰越金	130,135	0		通信行動費	292,500	340,000	役員通信費等
				慰勞金	20,000	50,000	退任役員慰勞金
				負担金	352,550	360,000	防火連@22円、住み輝@20円
				雑力	0	80,000	消防団、もぐら会、ホットスペース他
				雑費	497	10,000	
				集会所費	80,172	30,000	
				賃借料	0	0	22年度からはコミ協計上
				光熱水料	582	0	同上
				雑口(物品諸費)	79,590	30,000	
				予備費	0	63,000	
				支出合計	3,067,152	3,259,000	
				次年度繰越金	179,090	0	

連合自治部会計(防犯灯特別会計)			
科目	22年度決算	23年度予算	予算の内容
収入の部			
繰越金	40,498	38,195	22年度から繰越金
負担金	44,700	44,700	関係自治会負担金9自治会分
新潟市補助金	35,700	35,700	新潟市電気料補助金水銀灯21灯
雑収入	10	405	貯金利息等
収入合計	120,908	119,000	
支出の部			
設備費	0	0	設置補助金の対象となる費用
補修費	16,800	25,200	灯具の取り替え・簡易な修理等
電気料	65,913	70,000	月5,800円×12月を見込む
借地料	0	0	
借事務費	0	0	
雑費	0	0	上記各科目に属さない費用
予備費	0	23,800	
支出合計	82,713	119,000	
次年度繰越	38,195	0	

坂井輪連合自治会名簿											
自治会名	会長	世帯数	班数	自治会名	会長	世帯数	班数	自治会名	会長	世帯数	班数
新田	梅田 壽	30	6	坂井輪団地	大野 和江	144	11	大野藤山	古澤 孝史	94	8
新田東	大久保 二郎	19	3	須賀団地	山本貴美子	610	39	藤山団地	藤本 敏之	51	8
仲才	本間 清治	30	3	坂井輪第2団地	草野 順二	150	6	緑ヶ丘	梶原 宜教	864	90
坂井	河谷 和明	99	6	坂井ファミリタウン	片桐 武夫	11	1	南ヶ丘	小泉 一樹	147	12
新通	田中 春一	185	8	西坂井第2	大瀧 敏男	215	19	坂井南ヶ丘	伊部 肇	366	30
新通南	松井 正信	630	40	新坂井	小林 勉	137	11	寺尾新町第1	前田 信一	544	50
ウィズプラザ新通	高橋 義久	102	10	上坂井	小杉 忠	420	12	寺尾新町第2	松本 弘三	360	34
尾立	野澤 宏	4	1	西坂井団地	米田 昭男	168	11	寺尾新町東和	塚 正弘	129	11
坂井東3丁目	青木 功	540	27	上西坂井団地	藤田 一憲	112	9	寺尾山の手	皆川 義	170	15
寺尾駅前団地	平井 輝久	150	14	西坂井第3	久住 哲行	45	5	寺尾上4東	大澤 正	110	7
寺尾東2丁目	本田 健	193	14	青葉台	高橋 捷治	77	6	寺尾南新町	清水 二六	151	11
寺尾村上	岩野 邦弘	53	4	若葉団地	佐藤 正樹	45	7	寺尾新町	渡井 哲夫	157	9
畠中団地	小林 功	28	4	輪ノ内	伊田 修一	243	19	道上ヶ丘	土屋 純一	314	21
亀貝	坂井 忠正	89	5	布割	富田 繁男	5	1	合計	45自治会	8,856	688
坂井中団地	長谷川 洩	602	56	横尾新町	布川 廣紀	45	4				
亀貝若葉	鈴木 忠次	87	6	新通団地	山本 秀平	131	7				

あとがき

▼先の総会において、坂井輪中学校区コミュニティ協議会(以下略してコミ協)連合自治部部長を退任された柳澤 譲さん。当初は平成7年度に坂井輪連合自治会会長に就任。その後、コミ協初代会長(平成17年度就任)、コミ協連合自治部部長(平成20年度就任)を経て、通算16年間の長きに亘り坂井輪地区の住民自治活動・コミュニティ活動の先頭に立ち、その発展に多大のご功績を残されました。そして更に活躍を望まれたが、健康上の理由から後任に道を譲られました。長い間ご苦勞様でした。紙面をお借りして感謝申し上げます。なお退任後は顧問として後進への指導をお願い申し上げます。

▼さて、昨年は東日本大震災が発生。大地震と想定外の巨大津波に加えて、福島原発事故と三重苦がかさなり、東北地方を中心に多くの人命と財産が失われました。この人命と財産が失われ、多くを学び、今後の災害対策へ十分に生かしたいものです。

新潟市は、この大震災を契機として災害対策の一策に「津波避難ビル指定」の動きがあります。当坂井輪地区では、県道16号(下道)が東西に走り、下道以南(内陸側)は低地帯で水に大変弱い地域です。特に文理高校付近は市の指定避難所(新通小学校)から遠く、既に要援護者の避難誘導が難しく、改善要望のある地帯です。今後は官民協力により、これら避難所の空白地帯解消のため早期に「市指定避難所」が実現する日の来ることをお願いして、71号をお届けします。(S・I)

